

暑中お見舞い申し上げます。

災害ともいえる猛暑が続いています。皆さまどうぞご安全にお過ごしくださいますよう、お祈り申し上げます。

さて平成三十年七月西日本豪雨では、多くの人命、財産、記録、思い出を失いました。謹んでお見舞い申し上げます。

そのなかにあつて、アーカイブズの被災についても、当初から現地に入り込まれ、そして今現在も引き続き救済・復旧に尽力されている方々に感謝申し上げます。

現在、各地の情勢を調査し、情報交換につとめているところですが、アーカイブズの救済は、これから本格化そして長期的な活動になると思います。

全史料協からも被災地域への支援の手を差し伸べたく思っているところですが、ご承知のとおり、限られた予算ですから、とても充分なことができません。お詫び申し上げます。

今後、国や地方自治体そして国民への働きかけ、呼びかけをいたしますので、皆さまにおかれましても、ご協力をどうぞよろしく願います。

災害関係者の皆さまにおかれましては、どうぞご無理をなさらず、御身お大事になさってください。

災害等に直接に関係していない方におかれましては、余力があるようでしたら、どのようなかたちでも結構ですから、被災資料救済にお力添えをしてくださいますよう、よろしく願います。

平成三十年七月二十六日

全史料協会長 定兼 学